

平和首長会議加盟自治体の皆様

平素より平和首長会議の活動にご支援・ご協力いただき、心より感謝申し上げます。
平和首長会議の近況をお知らせします。

<<今号の内容>>

- ◆小溝事務総長が欧州を訪問
- ◆サラエボ市で被爆樹木の植樹式
- ◆全米市長会議が核軍縮の国際的フォーラムへの建設的かつ誠実な参加を米国に求める決議を採択
- ◆2020 ビジョンキャンペーン協会 2014 年役員会を開催
- ◆欧州安全保障協力機構（OSCE）核廃絶フォーラムでフロン市長（ノルウェー）（平和首長会議副会長）がスピーチ
- ◆フランス平和首長会議（AFCDRP）新会長選出
- ◆平和首長会議を支援するバイクフォーピースがスコットランドを訪問
- ◆加盟都市の活動紹介（筑前町（福岡県）、西宮市（兵庫県））
- ◆平和首長会議原爆ポスター展を開催しましょう！
- ◆「核兵器禁止条約」の交渉開始等を求める市民署名活動を展開しましょう！
- ◆6月の平和首長会議会長訪問
- ◆平和首長会議加盟自治体数：158 か国・地域 6,127 自治体

~~*~*~*~*~*~*

平和首長会議の最新ニュースはこちらでチェック！

ホームページ：<http://www.mayorsforpeace.org/jp/index.html>

フェイスブック：<https://www.facebook.com/mayorsforpeace>「いいね！」をお待ちしています。

~~*~*~*~*~*~*

=====

◆小溝事務総長が欧州を訪問

[6月26日～7月5日]

小溝平和首長会議事務総長は、6月26日から7月5日の間、パリ（フランス）、サラエボ（ボスニア・ヘルツェゴビナ）、ウィーン（オーストリア）、ローマ（イタリア）を訪問しました。

パリ市では、核軍縮・不拡散議員連盟（PNND）フランス支部主催の国際会議「核兵器のない世界に向けて」においてパネリストとして参加し、広島の実相を踏まえ、平和首長会議が展開する核兵器廃絶に向けた取組についてスピーチを行いました。サラエボ市では第一次世界大戦開戦100周年記念式典に出席したほか、サラエボ市長に被爆樹木の苗木と折り鶴を贈呈しました。

また、サラエボ、ウィーン、ローマにおいては、リーダー都市就任に向けた意見交換を行ったほか、未加盟都市に対する加盟要請も行いました。

=====

◆サラエボ市で被爆樹木の植樹式

[サラエボ市（ボスニア・ヘルツェゴビナ） 6月28日]

=====

小溝平和首長会議事務総長は、サラエボ市に被爆樹木であるイチヨウの苗木を寄贈し、サラエボ市の友好都市の首長等やサラエボ市民が見守る中、サラエボ市中心部の公園でイーボ・コムジッチ市長とともに植樹を行いました。コムジッチ市長からは、両市及びEU国内の友好と平和の象徴として大事に育てていきたいとの謝辞が贈られました。また事務総長は、5月に発生した未曾有の洪水被害に対する見舞金目録を贈呈したほか、原爆の子の像にささげられた折り鶴も併せて手渡しました。

=====

◆全米市長会議が核軍縮の国際的フォーラムへの建設的かつ誠実な参加を米国に求める決議を採択

=====

米国の市長で構成される超党派の団体である全米市長会議（USCM）が、6月23日、テキサス州ダラス市で開催された第82回年次総会において、核軍縮の国際的フォーラムへの建設的かつ誠実な参加を米国に求める新決議を全会一致で採択しました。

決議はUSCM元会長であり、平和首長会議副会長であるアクロン市（オハイオ州）のドナルド・プラスケリック市長をはじめ、ヴァージニア、ノースカロライナ、アイオワ、ペンシルバニア、オレゴン、フロリダ、マサチューセッツ、アーカンソー、ウィスコンシン、イリノイ、メイン、カリフォルニア、ミネソタ、ニューメキシコの各州から27市の市長が共同発起人となり提出されました。

▼決議文和訳

http://www.mayorsforpeace.org/jp/topic/2014/201407_zenbei_shichokaigi/index.html

▼決議の全文（英語）

http://www.mayorsforpeace.org/english/topic/2014/201407_us_conference_of_mayors/index.html

=====

◆2020 ビジョンキャンペーン協会 2014 年役員会を開催

[サラエボ市（ボスニア・ヘルツェゴビナ）6月8日]

=====

6月8日、年に一度の平和首長会議2020ビジョンキャンペーン協会の役員会がサラエボ市役所（ボスニア・ヘルツェゴビナ）で開催されました。マンチェスター市（英国）のマーク・ハケット市議会議員が議長を務め、サラエボ市のランコ・コビッチ副市長及びキャンペーン協会役員都市の代表が参加しました。役員会では、2020ビジョンキャンペーンの2014年から2015年にかけての計画、2014年予算及び会計報告、2014年プログレスレポート等が承認されたほか、副会長及び准役員が再任されました。

役員会は、第一次世界大戦開戦100周年に先立ち、NGO、学術団体、宗教団体等が主催する「サラエボ・ピース・イベント」に合わせて開催されました。平和首長会議2020ビジョンキャンペーン協会は、「都市を攻撃目標にするな！」「市民社会と公選された議員・首長の協働」をテーマとした二つのワークショップを開催しました。ボスニア各都市の市長との共同会見も行われました。「ピース・イベント」の公式閉会式では、2020ビジョンキャンペーン協会運営委員会委員長であるヤン・デュルネズイーペル市長（ベルギー）が、多数のノーベル平和賞受賞者とともに挨拶しました。また「ピース・イベント」に関連して、ユースキャンプ、音楽祭、映画祭も開催されました。

=====

◆欧州安全保障協力機構（OSCE）核廃絶フォーラムでフロン市長（ノルウェー）（平和首長会議副会長）がスピーチ

=====

7月4日から5日、バーゼル平和事務所(The Basel Peace Office)主催の欧州安全保障協力機構(OSCE)核廃絶フォーラムが開催され、市長、国会議員、平和・反核団体の代表約40名が参加しました。平和首長会議副会長であるトーレ・ベツビィフロン市長（ノルウェー）は、市長と国会議員を兼務する立場か

ら、その役割と連携の可能性についてスピーチしました。ベツビィ市長はまた、自らも参加した自転車によるツアー「バイクフォーピース」を市民への呼びかけの手段としていかに活用したか、バイクフォーピースと平和首長会議の連携により、一般市民からローマ法王、潘基文国連事務総長に至るまで、あらゆるレベルの人々と面会し、思いを共有することができたことについての自らの経験を説明しました。フォーラムは核軍縮・不拡散議員連盟（PNND）国際コーディネーターを務めるアラン・ウェア氏等の協力も得て、成功裏に終了しました。会議の締めくくりの活動として、フランス・ドイツ・スイス3か国の国境へのバイクツアーが行われ、参加者はバイクツアーと平和について語る活動を満喫しました。

▼関連記事（バーゼル平和事務所ウェブサイト、英語）

<http://www.baselpeaceoffice.org/article/basel-osce-forum-speaker-world-bike-ride-peace>

=====

◆フランス平和首長会議（AFCD RP）新会長選出

=====

6月23日、フランス国内の平和首長会議加盟都市で構成されるフランス平和首長会議（AFCD RP）は、年次総会をパリのイル＝ド＝フランス地域議会において開催し、新しい会長にグリニー市のフィリップ・リオ市長を選出しました。

リオ市長は、2001年から本年までフランス平和首長会議会長を務めたオーバーニュ市のダニエル・フォンテーヌ前市長の責務を引き継ぎます。フォンテーヌ市長は1985年の第1回総会から2005年の第6回総会まで毎回平和首長会議総会に参加し、フランス、地元オーバーニュ市、そして海外においても平和首長会議の活動に尽力してきました。就任挨拶において、リオ市長は、フォンテーヌ市長が始めた事業を遂行し、フランスにおける平和首長会議のネットワークと活動を強化することを誓いました。

リオ市長は、ダニエル・フォンテーヌ前市長がフランス平和首長会議（AFCD RP）の名誉議長に就任し、引き続き核軍縮と平和文化に貢献していくことを発表しました。

グリニー市はパリ南東部近郊に位置する人口約3万人の自治体であり、2000年に平和首長会議に加盟しました。

▼AFCD RP・フランス平和首長会議新会長のフランス加盟都市向け挨拶（フランス語）

<http://afcd rp.blogspot.fr/2014/07/le-mot-du-president.html>

=====

◆平和首長会議を支援するバイクフォーピースがスコットランドを訪問

[7月16日～19日]

=====

5月に世界一周ツアーを終えたノルウェーの団体バイクフォーピースは、引き続き平和首長会議を支援し、今年から来年にかけて新たな一連のツアーを世界中で行います。グラスゴーで開催される第20回コモンウェルス・ゲームに先立ち行われるスコットランドツアーに、ノルウェーの市長たちが参加します。

同ツアーは7月16日から19日まで、エジンバラからスタートして、ダンディー、パース、スターリング、ペイズリー及びグラスゴーの各平和首長会議加盟都市を回り、市長、副市長が市民主催の歓迎会でバイクフォーピース一行を迎えます。エジンバラではスコットランド政府高官及び議会関係者との会見についても調整中です。スコットランドツアーは、今年始めにマンチェスター、コベントリー、ロンドンの各市が全面的に支援し成功したイングランドツアーに続くものです。

=====

◆加盟都市の活動紹介

=====

*筑前町（福岡県）

第3回 平和のメッセージコンテスト 作文募集 [7月1日～9月30日]

筑前町には、かつて旧陸軍が東洋一を誇った大刀洗飛行場を中心とする一大軍都が存在し、当時その周

辺は歴史的に重要な役割を果たしながら発展してきました。しかし、昭和20年3月、米軍の大空襲により壊滅的な被害を受け、多くの尊い命が奪われました。また、この飛行場は特攻隊の中継基地として、数多くの若き特攻隊員を見送った場所でもあります。こういった地域の歴史を背景に、戦後69年が経過し、風化しつつある戦争の悲惨さと平和の大切さを後世に語り継ぐために、このたび筑前町では平和のメッセージコンテストを開催します。

テーマは、平和の大切さや命の尊さについて「誰かに伝えたいこと」「誰かに語り継ぎたいこと」などです。最優秀賞・優秀賞・特選に入賞された場合、平成27年3月22日に筑前町内で行われる表彰及び発表会に出席していただく必要があります（特別な事情を除く）。

詳細については、筑前町のホームページをご確認のうえ、次の連絡先にお問い合わせください。

▼お問い合わせ： 筑前町役場企画課 企画調整係 電話番号 0946-42-6601

▼詳細記事（筑前町ウェブサイト）

<http://www.town.chikuzen.fukuoka.jp/1163.htm>

*西宮市（兵庫県）

平成25年度の平和事業 - 平和非核都市宣言30周年

西宮市は、昭和58年（1983年）12月10日に、世界中に核兵器の廃絶を強く訴えるとともに、平和を愛する社会をはぐくみ、築くことを誓い、平和非核都市宣言を行いました。この宣言から、30周年を迎えた平成25年度は、これまでの30年のあゆみを振り返り、宣言の意義をさらに発展させるため、「平和非核都市宣言30周年事業 平和のつどい」をはじめ、記念誌の発行、戦場カメラマン渡部陽一写真展、平和啓発講演会等、様々な30周年記念事業を実施しました。その他、毎年開催している、原爆展の開催（7月）、平和灯ろう流しの実施、親子広島バスツアーの開催、終戦記念日に向けての街頭啓発（以上8月）、平和非核都市啓発看板の設置（12月）を行いました。

▼詳細記事（西宮市ウェブサイト）

<http://www.nishi.or.jp/contents/0002763400040009700606.html>

<< 貴自治体の平和活動の情報をお知らせください >>

平和首長会議ホームページの「加盟都市の活動」コーナーに掲載する情報をお待ちしています。広島・長崎の原爆記念日にちなんだ行事のほか、貴自治体の戦災等に関する記念日や終戦記念日の行事、その他、平和に関する様々な事業の情報をぜひお知らせください。

貴自治体のホームページにリンクする形でご紹介しますので、記事のタイトル、英語版の有無、リンク先等の詳細を、次のアドレスにご連絡ください。

▼Eメール: mayorcon@pcf.city.hiroshima.jp

▼加盟都市の活動（平和首長会議ウェブサイト）

<http://www.mayorsforpeace.org/jp/activites/membercity/index.html>

=====

◆平和首長会議原爆ポスター展を開催しましょう！

=====

平和首長会議では、加盟都市が5000を突破したことを記念し、2012年6月のオーストリア・ウィーン市での開催を皮切りに、平和首長会議原爆ポスター展に国内外の加盟都市を挙げて取り組んでいます。

今月、全8か国語版についてポスター16ページの核兵器禁止条約に関する説明を更新しました。

ポスター展は現在までに新宿区（東京都）や堺市（大阪府）、ロンドン市（イギリス）、ボルゴグラード市（ロシア）、カブール市（アフガニスタン）など、250を超える自治体が開催しています。

6月には、イタリアのミラーノ市（Mirano）が6月1日に同市の第2回平和と合法性デーの行事でポスター展を行いました。イタリア語訳も展示され、約50名が来場しました。

引き続き、ポスター展の開催にご協力ください。

※ポスター概要：標準サイズA2版、18枚

▼ポスター展の詳細及びポスターのダウンロード：

<http://www.mayorsforpeace.org/jp/ecbn/projects/poster/index.html>

=====
◆「核兵器禁止条約」の交渉開始等を求める市民署名活動を展開しましょう！
=====

2020年までの核兵器廃絶を実現するために最も効果的な方法は、世界のすべての国が「核兵器禁止条約」を締結することです。「核兵器禁止条約」とは、核兵器の製造、保有、使用等を全面的に禁止する条約です。

その早期実現を目指し、2011年11月の理事会及び2012年1月の国内加盟都市会議において、条約の交渉開始等を求める市民署名活動を加盟都市を挙げて展開することが決定されました。署名活動は第8回総会で決定した行動計画にも掲げられています。

皆様のご協力により、2014年7月1日現在、972,144筆の署名が集まっています。

今後とも、全加盟都市を挙げて積極的に署名活動を展開しましょう。

(署名はインターネットからも可能です。)

▼署名用紙 (PDF)

http://www.mayorsforpeace.org/data/pdf/01_monthly Updating/11_petitionform_jp.pdf

▼オンライン署名 (新URL) *サーバー移行に伴い、本年2月にURLが変更になりました。

<https://www.ssl-z.city.hiroshima.jp/pcf/jp/form.htm>

▼関連情報：広島市の市民署名活動の展開

<http://www.city.hiroshima.lg.jp/www/contents/00000000000000/1333414321137/index.html>

=====
◆6月の平和首長会議会長訪問
=====

松井一實広島市長・平和首長会議会長は、6月に次のような外国人来訪者の表敬訪問を受けました。その際に平和首長会議の取組および加盟要請への協力をお願いしました。

*6月12日(木) マリオ・マラツィーティ イタリア共和国下院議員・人権委員会委員長

▼関連情報：広島市/日々の動静—2014年6月

<http://www.city.hiroshima.lg.jp/www/contents/00000000000000/1401667988542/index.html>

=====
◆平和首長会議加盟自治体数：158か国・地域 6,127自治体
=====

皆様のご理解とご協力により、今月44都市が新たに加盟し、平和首長会議の加盟自治体数は7月1日現在で6,127自治体(158か国・地域)となりました。

日本国内では、青森県階上町等6自治体(3町3村)が加盟し、国内加盟自治体数は1,460自治体(加盟率83.9%)となりました。

海外については、テヘラン平和博物館の呼び掛けにより、イランの34都市が新たに加盟し、同国の加盟都市数が274都市となりました。また、ノルウェーから2都市、イタリア、アメリカからそれぞれ1都市が加盟しました。

引き続き近隣未加盟自治体や姉妹都市への働き掛けなど皆様のご支援をよろしく申し上げます。

▼7月1日付新規加盟自治体一覧

http://www.mayorsforpeace.org/data/pdf/2014/newmembers1407_jp.pdf

▼加盟自治体マップ

<http://www.mayorsforpeace.org/jp/membercity/map.html>

*** 本メールニュースに関するご意見、お問合せ、
連絡先変更等は下記までご連絡ください***

平和首長会議事務局

〒730-0811 広島市中区中島町1-5

(公財) 広島平和文化センター 国際部 平和連帯推進課

TEL:082-242-7821 FAX:082-242-7452

Email: mayorcon@pcf.city.hiroshima.jp